

表1 『(社)日本女子体育連盟学術研究』第20～26号 掲載論文一覧

号 Vol	発刊年月日	種類	論文タイトル	執筆者
20	2003(平15).11.1	原著論文	ケイ・タケイの作品《ライト(Light)》の特性—アメリカにおける公演批評文から—	細川江利子
			幼児への創造的身体表現の指導法	高野牧子・小田ひとみ
		研究資料	ドイツにおけるダンス・セラピーおよびダンス・セラピスト養成の現状	八木ありさ
		事例報告	日本の伝統芸能を学校教育に導入する可能性と課題—足利南高等学校 総合学習「歌舞伎講座」を事例として—	小林ゆい
21	2004(平16).11.1	原著論文	日本人批評家が捉えたケイ・タケイの作品《ライト(Light)》の特性	細川江利子
			生涯学習に向けた「リズムダンス」・「現代的なリズムのダンス」の学習指導に関する縦断的研究	村田芳子・松本昌代
		事例報告	「ダンスと地域の関係」の構築—進化する「ムーブメント・アート・インみやざき」—	高橋るみ子・有馬早苗
			ベトナム障害児教育専門コースでのダンス指導	佐分利育代
22	2005(平17).12.1	原著論文	バリアフリーなことからからだのふれあいを求めて—幼児から高齢者までを視野に入れたダンス指導の実際—	村田芳子・高橋和子
			子どもの学びを中核とした「表現」の指導—魂をゆさぶる物語素材—	花輪千秋・高橋芳子・高橋和子
		研究報告	舞踊教育における学習内容の検討—特に小学校における「表現」に着目して—	寺山由美
23	2006(平18).12.1	原著論文	「からだ気づき」の典型教材の有効性の検討—ラベルワークによる参画型授業実践—	高橋和子
			身体性を重視した社会福祉援助技術演習プログラムの作成と実施に基づく効果に関する検討	八木ありさ
			ケイ・タケイの作品《ライト, パート12(石の畑)》(1976)の特性	細川江利子
		実践研究	幼児と保護者を対象とした身体表現の指導構造—LABAN「Movement Play」コースでの観察調査を手がかりにして—	高野牧子
			大学におけるコンタクト・インプロヴィゼーション授業に関する考察—湘北短期大学[体育実技/理論]を事例として—	相馬秀美
			事例報告	野外彫刻のある空間におけるダンスワークショップの試み—大原美術館における教育普及活動の中での実践—
24	2008(平20).3.1	原著論文	健康運動としての太極拳の評価—主観的気分・ストレス・免疫機能からのアプローチ—	笹本重子・阿部絢子
			表現運動における「表現」の題材選定に関する研究—児童と題材との関係を17年前の調査と比較して—	安江美保・村田芳子
			即興表現「群像」における自己概念の変容に関する研究	高橋和子
		研究報告	舞踊におけるクリエイション・スキルに関する研究—現代舞踊家による即興表現から作品創作への展開を事例として—	細川江利子・寺山由美・羽岡佳子
			実践研究	「ダンス・サーキット」による表現運動
		ダンス・セラピスト養成の学習課題を導入した援助技術演習指導に関する研究		八木ありさ
25	2009(平21).3.31	原著論文	徳島県の伝統文化「阿波踊り」の教材化に向けた基礎的研究	中村久子・高橋和子
			即興表現を中心とした大学生のダンス・セラピーがセルフ・モニタリングと自己肯定度に与える影響	八木ありさ
		研究報告	表現運動の授業における「他者関係」に関する研究	柳瀬慶子
		研究資料	更年期閉経前と閉経後の女性の骨密度減少の変化動態からみた閉経後骨粗鬆症の予防	渡部かなえ
26	2010(平22).3.31	原著論文	中学校体育の男女必修化に伴うダンス授業の変容—平成19年度、20年度、21年度および24年度の年次推移から—	中村恭子

表2 『(社)日本女子体育連盟学術研究』第27～32巻 掲載論文一覧

巻 Vol	発刊年月日	種類	論文タイトル	執筆者
27	2011(平23)3.31	原著論文	大野一雄のダンス教育に関する一考察 －捜真女学校時代の指導経緯を中心として－	高橋和子
			表現・創作ダンスの学習における「即興表現」の指導とその捉え方 －実践を続けてきた4人の教諭に着目して－	寺山由美・細川江利子
			日本と韓国のナショナルカリキュラムにおけるダンスの内容の変遷に関する研究 －日本の学習指導要領と韓国の教育課程を対象として－	朴京眞・村田芳子
		事例報告	大学体育授業におけるボディコンディショニングの取り組みについて	大熊玲子
28	2012(平24)3.31	実践研究	ダンス学習における「ものを使った表現」の特性と意義に関する研究 －新聞紙を使った指導を中心に－	中島由梨・村田芳子
			ダンス・ワークショップにおける学びについての一考察 －創作体験とグループ活動の意味－	原田純子
		事例報告	学生の「気づき」に着目したボディコンディショニングの授業方法についての一考察	大熊玲子
29	2013(平25)3.31	原著論文	アフリカの舞踊とグローバル教育に関する基礎的研究	遠藤保子
			「他者との関わり」を創出するダンス授業に関する研究－2つの授業を事例に－	伊藤茉野・村田芳子
		事例報告	ボールルームダンスの指導法に関する研究 －音楽の特徴を生かした即興的な交流を取り入れたボールルームダンス指導 試案－	田島正浩・村田芳子
30	2014(平26)3.31	原著論文	カポエイラにおける授業構成の観点と「ジョゴ」概念 －リオデジャネイロ市立J幼稚園の授業モデルに基づいて－	細谷洋子
			大学生を対象としたダンス・セラピーワークショップの効果検証における「気分調 べ」と「色名記述」の有効性	八木ありさ
			知的障がい者とその家族をメンバーとするダンスグループの活動に関する質的 研究	伊藤美智子
			NJ体育大生における「体操教材」に関する一考察	笹本重子・一戸秀子
		実践研究	伝承遊びの学びについての一考察－グループ学習と行事「七夕まつり」を通し て－	福原千枝
		研究資料	高等学校におけるダンス部の活動実態及び部員の意識調査	中村なおみ・勢畑多恵 子・布施典子
31	2015(平27)3.31	原著論文	学校体育における教育学的ケアリングの地平	梅澤秋久
			ダンス公演の鑑賞に関する研究 ～体育系大学生は、知的障害者とその家族のダンス公演をどのように享受した のか～	伊藤美智子・白井麻子
		実践研究	リズム体操指導に関する一考察 －言語的・視覚的フィードバックの効果からの検討－	一戸秀子・笹本重子
32	2016(平28)3.31	原著論文	レジリエンスを高めるダンスの有効性に関する研究 －大学生および教員を対象として－	高橋和子・山本光
		実践研究	表現運動の指導者に求められる資質についての一考察 －1人の指導者の成長の転機に着目して－	安江美保

註

* Vol.27より巻号変更。すなわち、2003年の『学術研究』発刊より2010年までは第20～26号。2011年より第27～30巻と変更。

英語表記はVol.で変更なし。

* 2013年4月に公益社団法人になったのに伴い、第30巻より本誌の名称を『(公)日本女子体育連盟学術研究』に改称。